



平成9年度版 白陵会名簿の発行について

白陵会では、平成9年12月発行の予定で名簿作成の準備を進めております。

前回、平成4年8月に発行した名簿もかなり住所変更が見受けられるようになりました。前回以上に、より正確な名簿を目指し、鋭意作成に努めたいと思います。

今回は、現在登録されているデータを印字した連絡カードを新たに作成し、この会報と共にお届けいたします。連絡カードにて変更箇所を確認させていただきますので、速やかにご回答下さいますようお願い申し上げます。

なお、現在住所不明となっておられる会員の消息につきましても、皆様方からの情報を得たいと考えておりますので、あわせてよろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、名簿の購入希望につきましては、連絡カードにて承り、後日代金振込用紙をお送りする予定です。5年毎の発行でありますし、全卒業生の所在を知る唯一の手段でもありますので、是非この機会に1冊お求めいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、名簿発行とあわせて、名簿に掲載する会員諸氏からの広告も募集させていただきますので、ふるってご応募賜りますようお願い申し上げます。

平成9年度版	白陵会名簿	概要
装丁	B5版	470頁
発行予定	平成9年	12月
価格	3,700円	(送料込)

※名簿の詳細及び、連絡カードの記入、広告掲載等につきましては、同封の印刷物にてご確認ください。

同封の「連絡カード」が名簿作成の貴重な資料となります。所要の各欄にご記入の上、8月末日までにご投函下さい。



総会御礼と 名簿発行へのお願い

白陵会 会長 沼田 好道

暑中お見舞い、申しあげます。母校では学園道路の榊並木が道を覆い、日中のさびしい日差しを和らげようとしてくれていきます。会員の皆様方におかれましてもますますご隆昌のことと拝します。

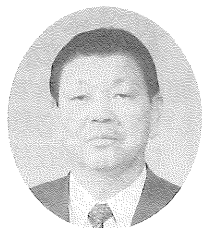
さて、昨年、白陵会総会を八月十日(日)、ホテルサンガーデン姫路において開催いたしましたところ、多数ご出席いただき誠にありがとうございました。

昨年の総会は、夏休みのお集まりいただきやすい日を選び、会場も従来の学校から交通の便の良い姫路駅に面したホテルに移し開催させていただきましたが、ご出席の方々にも喜んでいただくことができ安堵しております。また、校友(十五期生)でフライデーや週刊文春のカメラマンとして活躍され、最近では写真作家として著書も出版されている宮嶋茂樹氏の講演もスライドを交えての楽しい会と懇親、懐かしい母校を紹介するビデオ上映や、特に、恩師を囲んでの懇親会は白陵時代に戻って大いに盛り上がったのではないかと存じます。今回ご都合のつかなかった方々におかれましても、次回はぜひお気軽にご出席いただきまして懐かしいお顔が一人でも多く揃いますようお願いしております。

また、本年度の事業として、第四回目的名簿発行を予定しております。平成九年度版白陵会名簿の作成にあたりましては、新たに上田喜裕副会長を委員長として発足した名簿発行委員会が、別途、名簿作成に必要な連絡カードを作成し、皆様方からの貴重な情報をお待ちしております。前回の発行から五年が経過し、会員数も今年三月に三十二期生の新入会員を迎え五千三百三名に増加しておりますが、この間、住所などの変更もかなり発生しているのではないかと思います。現在、既に約三百八十名の方々が住所不明で、この会報もお届けできない状態にあります。この度の名簿発行に際しては白陵会のお届けできない状態これらの住所不明者の調査を行います。会員各位におかれましても何分よろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。

本会が作成する同窓会名簿は、学校当局の全面的なご支援を得た唯一の公式な名簿です。同期は勿論のこと、先輩、後輩のつながりを深める上でも同窓会名簿は欠くことのできないものです。どうか、是非お手元に一冊お持ち頂きますようお願いいたします。どうか、是非名簿への広告もあわせて募集しておりますので、よろしくご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方の今後ますますのご活躍をお祈りしご挨拶いたします。



白陵が大きく変わります —ご挨拶にかえて—

理事長 三木 一正

いま、関西空港にむかう「特急はるか」のなかでこの挨拶文を書いています。六月に入って五回目の関西行きです。例年ですと北海道への修学旅行団の見送りや出迎えが白陵と岡山白陵の計四往復なのですが、今年は一回多いのです。それは、白陵、岡山白陵の先生方と一緒にロンドンへ視察旅行に出かけたからです。国際化時代の視点を具体的な形で修学旅行にまで広げようというものです。十八年間続いた北海道から何故ロンドンかという、それには理由があります。本学園の建学精神のなかに旧制高校のような学校をつくりたいという條りがあり、その旧制高校の範となったものの一つにイギリスのパブリックスクールがあり、創設者が夢にまでみたイギリスの地を踏むことは、そのこと自体に意義があると考えたのです。パブリックスクールはもとより、少し足をのばせばケンブリッジ大学がありオックスフォード大学があります。

そのうえ初期の卒業生にとっては、悪夢のような(?)ハーデーの故郷でもあり、大英博物館の近くにはディケンズ博物館まであるというのですから、海外の修学旅行先といえは、イギリスのロンドンにおいて他に行き先はありません。そのうえ、王室の歴史ある国であり、シエイクスピアを生み、そしてピートルズを世界に送りだしたお国柄、悪いわけがありません……といったところでしょうか。とはいえ、心配がないわけではありません。治安はどうだ?健康管理に問題は?経費は如何程?そしてパスポート・ビザに至るまで、いま学校ではこの話題で持ちきりです。

そしてもう一つの変化は中学校からの女子生徒募集を来年度から実施すべく県へ申請したことです。男子のみの中学校と男女共学の高等学校を結ぶ変則六ヶ年一貫教育を正常化しようというものです。この様に白陵はいま大きく変わろうとしています。でも変わってならないものは、幅広い大きな人間を創っていくという建学の精神です。

同窓会諸兄姉の今後更なるご協力をお願いするとともに各位のご健勝を祈っています。

平成9年 大学入学試験合格者数

国公立大学			
大学名	7年	8年	9年
東京大	37	31	33
京都大	24	16	20
大阪大	39	14	26
神戸大	12	11	17
北海道大	5	5	4
東北大	1	1	5
一橋大	9	7	6
筑波大	3	2	2
東京工大	2	1	
横浜国大	5	3	2
岡山 大	6	6	10
広島 大	1	4	
九州 大	3	1	2
大阪市大	3	5	3
大阪府大	5	4	4
その他	45	45	43
合格者計	200	156	177
(内医学部)	(16)	(15)	(19)

私立大学			
大学名	7年	8年	9年
早稲田大	30	31	46
慶応大	34	28	36
上智大	2	2	1
中央大	2	2	2
東京理大	12	4	11
青山学院大	1	1	2
関西学院大	16	23	24
関西大	8	10	18
同志社大	16	17	43
立命館大	17	17	24
大阪医大	1	2	1
兵庫医大		4	3
大阪薬大	2	1	2
京都薬大	2	5	4
神戸薬大	3	4	1
その他	31	36	36
合格者計	177	187	254
(内医学部)	(5)	(16)	(13)

白陵会役員名簿

役名	期	氏名	役名	期	氏名	役名	期	氏名
会長	3	沼田 好道	常任幹事	14	片山 安孝	校内幹事	1	芳木 健憲
副会長	3	天野 泰文	〃	16	谷口 泰司	〃	2	大内 義博
〃	6	上田 喜裕	〃	17	岡野 清和	〃	3	長濱 憲雄
理事	1	芝本真須美	〃	18	秋田 直樹	〃	3	黒田 洋
〃	1	武田久美子	〃	19	牛尾 英樹	〃	4	原田 正和
〃	2	川副 義文	〃	19	尾上 尚樹	〃	6	福井 孝昌
〃	2	名倉 正明	〃	20	石井 秀武	〃	11	小紫 一貴
〃	2	湖中 明憲	〃	21	河合 恵介	〃	11	宮崎陽太郎
〃	3	神吉 裕資	〃	21	中谷 泰健	〃	12	畔上 昇
〃(会計)	4	森崎 晴友	〃	22	新田 智弘	〃	12	山口 透
〃(書記)	10	吉田 達哉	〃	23	三木 健史	〃	12	中村 大吾
〃	10	加藤 雅宣	〃	23	中里 寛	〃	14	久保 博彦
〃	10	下村 康夫	〃	24	奥本 光廣	〃	15	村上 幸生
〃	12	奥野 昌三	〃	24	藤原 省悟	〃	15	西 善弘
会計監査	6	大崎 章快	〃	25	多根 正明	顧問	理事長	三木 一正
〃	15	町田 直隆	〃	26	池田 宗弘	〃	校長	八木 誠造
常任幹事	1	伊藤 達也	〃	27	山田 将義	〃	最高参事	濱田 忠彦
〃	1	正井 和野	〃	28	柿本 晴彦	〃	教頭	中安 久隆
〃	4	鎌田 芳寛	〃	28	松本 守弘	〃	1	遠山 寛
〃	5	塩崎 育男	〃	29	川田 雅彦	〃	1	黒坂 康夫
〃	7	萩本 義郎	〃	29	長濱 道治	〃	1	黒川 芳一
〃	8	山戸 敏彦	〃	30	上新 貴弘			
〃	8	黒川 仁	〃	30	石川結香子			
〃	9	貞広 始	〃	31	酒井 雅史			
〃	9	中沢 賢悟	〃	31	木下 智晴			
〃	11	志方 正彦	〃	32	酒井 勇人			
〃	12	若松 修	〃	32	伊賀有紀子			
〃	13	水田 堅						

総会だより

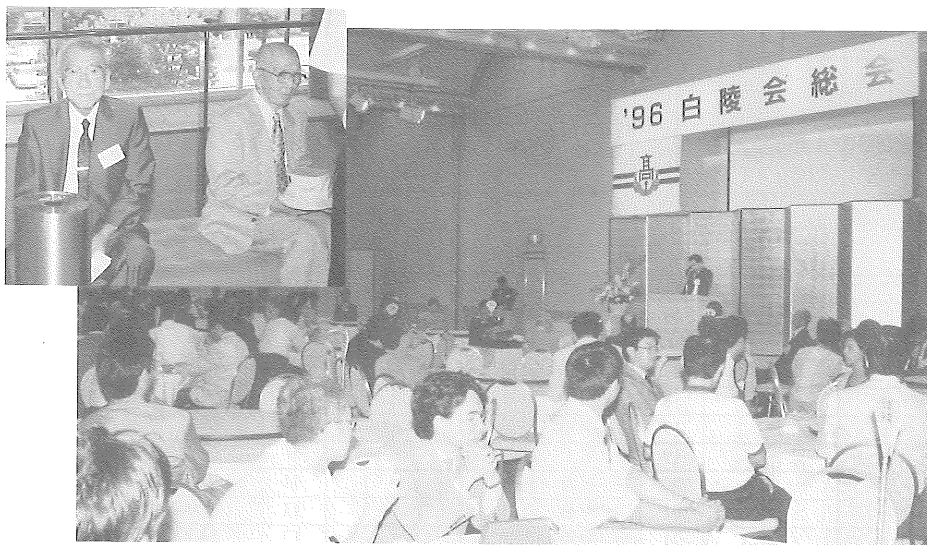
'96白陵会総会 平成8年8月10日開催される

白陵会総会は、五年に一回開催することになっております。

前々回は一九九〇年に開催いたしましたので、本来は一九九五年に開催する予定で準備を進めておりましたが、九五年一月に兵庫県を襲った、あのいまわしい阪神淡路大震災のため延期せざるをえない状況になり、復興も整い始め漸く落ち着きを取り戻した昨年八月に一年遅れの開催となりました。また、これまでの総会は、学校で白陵会館や体育館を借りて、毎回秋に開催してきましたが、今回は、初の試みとして、夏休みのお集まりいただきやすい日を選び、会場も交通至便の姫路駅南口に面したホテルサンガーデン姫路に移して開催させていただきました。約二百名の参加者は、懐かしい恩師や同期、先輩、後輩との再会に話がつきず、往年の旧制姫路高生の如く、その夜おそくまで姫路の街を闊歩されたようでした。

それでは、誌面にて、総会や懇親会の様子をお伝えすることにいたします。

当日は、真夏の暑い中にもかかわらず、午前十時三十分からの受付を待ちかねた様に、続々とお集まりいただき、早速、ホテルのロビーのあちらこちらで近況を話し合う風景を見かけま



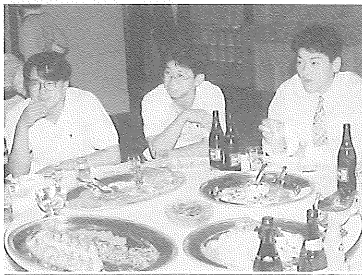
した。集まった会員は会場に用意された各期毎のテーブルに着席し、総会は定刻通り午前十一時にスタートしました。天野泰文総会準備委員長が開会を宣言し、出席者一同、物故者への黙祷を捧げた後、沼田好道会長が挨拶を述べられました。挨拶の中で会長は、発展を続ける母校へ同窓会を代表して賛辞を贈られると共に、阪神淡路大震災で被災された方々へのお見舞いと義援金をお送りいただいた方々への御礼や、同窓会名簿、会報、総会の三つを柱とした白陵会の活動についての報告をされました。また、母校も卒業生が教壇に立ち、卒業生の子弟を教えるといった時代を迎えていることに触れ、時代の速さと青春時代への郷愁を痛感するが、母校の三十周年記念に本会から寄贈した「陵友の苑」や三十周年卒業生諸君が寄贈した「校章の碑」は我々卒業生の想いを悠久の歴史に刻んでくれている。同窓会では、今後とも古き佳き白陵精神を守りながら母校に力一杯の支援を続けていきたいと、力強く会員への協力を呼びかけられました。続いて、八木誠造校長より、最近の生徒の様子や学校近況などの紹介を兼ねたご挨拶をいただいたあと、総会審議に入り、会計報告などが満場一致で可決されました。

総会に引き続き、講演会を行いました。今回は、会報でもご案内しておりましたように、同窓の十五期生で、現在、フリーカメラマンとして活躍中の宮嶋茂樹氏を講師に迎え、「不肖宮嶋奮戦記 ―特派カメラマンの現場報告―」と題しての講演をいただきました。宮嶋氏は、昭和三十六年、明石の生まれで、中学高校の六年間を白陵で学びました。在校中より写真部に所属しパチリパチリと写されていたそうです。



が、昭和五十九年に日本大学芸術学部写真学科を卒業後は、講談社の写真雑誌「フライデー」編集部専属カメラマンとして場数を踏まれ、昭和六十二年以降はフリーカメラマンとして「週刊文春」等で活躍され、写真集「人間・赤尾敏」や「陸海空婦人自衛官写真集自衛隊LADIE S」、著書としても「ああ堂々の自衛隊」「不肖宮嶋史上最低の作戦」「死んでもカメラを離しません」など体当たり取材の体験談をまとめられるなど、写真作家として幅広い活動を続けておられます。講演では、撮影された写真をス

ライドで上映しながら撮影時の苦労話や秘話をご披露いただき、拘置所内の麻原彰晃を撮影したスクープ写真や海外で生命の危険と隣り合わせで撮影された報道写真の鋭さには参加者からもその感覚に感嘆の声が聞こえておりました。講演会の後、懇親会に入り、三木一正理事長の挨拶の後、中安久隆教頭の音頭で乾杯し、恩師や同期の仲間、先輩、後輩との再会を懐かしみながら、和やかに楽しい一時を過ごしました。途中、故園長先生の奥様の三木茂子様や元教頭の山本武夫先生、元寮監長の塩見幸逸先生からスピーチを頂戴しましたが、特に一期生、二期生、三期生から四期、五期といった創立当初の期生は濱田忠彦先生や国司重吉先生など懐かしい恩師を囲み、時間の経つのも忘れ用意された料理で酒を酌み交わしながら懐旧談に花が咲いておりました。この後、校内幹事の川副義文先生と岡野清和先生が編集された「懐かしの母校」と題したビデオが上映され、懐かしい校舎や修学旅行や運動会の風景には歓声があがり、一新された制服姿の在校生には驚きの声も聞こえてお



りました。最後に校歌を高らかに歌い上げ、三本締めで懇親会を締めくくり散会となりました。一期生から三十期生まで、各期毎に、またクラブ単位でもそれぞれに盛り上がり、二次会、三次会へとそれぞれ夜の街へ繰り出しながら次回総会での再会を誓い合っていました。

今回の総会に際し、お忙しい中、多数お集まりいただきました会員の皆様にご心より御礼申し上げますと共に、ご来臨賜りました諸先生方はじめ、準備段階から大変お世話いただきました学校事務室の皆様方や役員の方々に深く感謝申し上げます。

会員の皆様方ますますのご活躍、ご多幸をお祈りし、次回総会でお会いできることを楽しみにお待ちしております。

白陵軍団全員集合(10)

バレーボール部OB会発足!!



バレー部は、川副先生がこれまで20年余り顧問を務めてこれ、現在でも中村・村上先生とともに熱心に指導を続けておられます。その間輩出されたOBは160名以上にもなります。毎年8月に学校の体育館で行われる合宿には、べ20名ほどのOBが顔を出し、あるOBは土曜日コーチとして指導に当たるなど、以前からある程度OBの動きはありました。でもやはり、さらなる交流を深めるために、「ぜひとも正式なOB会を発足させよう」ということで、有志9名が発起人となって発足の準備を進め、ようやく昨年12月29日(土)に、設立総会と第1回OB会の開催にこぎつけました。

当日は、まず白陵会館にて総会を行いました。川副先生の挨拶に始まり、発起人より発足に至る経緯の説明、趣旨の確認、今後の活動予定および役員承認を得ました。そして総会終了後、体育館に移動して体操服に着替え、久しぶりにバレーで汗を流しました。一口に「OB」といっても、20年前に卒業したOBもいれば、去年卒業したばかりのOBもいます。そこで、卒業期により大きく2つに分けてチームを組み、年長組は少しネットを下げて怪我のない楽しいゲームを、年少組は現役チームも交え気合いの入った激しい戦いを繰り広げました。

心地よい汗を流した後は、もちろん宴会です。約40名の人数

で、大変な盛り上がりを見せました。前半、大学で応援団に入っておられたという佐野会長が、盃を持ち何人かを引き連れて、威勢のいいかけ声とともに一気飲みをして回り、あつという間にハイテンションに突入。中盤からは、各卒業期毎にメンバーが前に出て自己紹介をし、川副先生からそれぞれのチームのエピソードが紹介されました。ゲームでミスをして怒鳴られた思い出は、皆心に通じるものがあるようで、その話が出るたびに爆笑と拍手喝采に包まれました。最後は川副先生を囲んで全員で写真を撮り、1次会はお開きに引き続き2次会もほぼ全員が参加し、カラオケでさらに絶叫。中には5次会まで行かれた先輩方もいたそうです。

卒業して以来初めてというチームメイトとも会えたり、年の離れた先輩・後輩とも気軽に親睦を深められたり、またバレーボールのおもしろさを再確認したりと、本当に楽しく有意義な一日でした。ほころびっぱなしの川副先生の顔も印象的でした。残念ながら、川副先生が顧問となられる前の8期以前の方々は今回部員の特定ができませんでしたが、再度調査を行います。ご存知の方はお知らせ下さいませ。幸いですが、今後もOB同志の親睦および現役バレー部の活動支援を図ってまいります。ご支援よろしく願ひ申し上げます。

白陵今昔物語 (11) 「岡山白陵 創立20周年」

白陵の卒業生の間でも「おかはく」の呼び名で親しまれている姉妹校「岡山白陵」も、早いもので昨年、創立20周年を終えました。学校法人三木学園が経営する姉妹校としてその校名は皆様もよくご存じのことと思いますが、さてその中身はというとなかなか知られていないのではないかと思います。そこで、今回の白陵今昔物語では岡山白陵を取り上げ、皆様にご紹介させていただきます。

岡山白陵創立20周年記念式典は、平成8年11月9日、県、私学関係者をはじめとする多数の来賓と、職員在校生らあわせて約1200人が出席し盛大に開催されました。式典では、田野勝彦校長が20周年を機に決意も新たに教育内容の充実が努め、更なる発展を誓いたいと式辞を述べられましたが、各界の出席者から賛辞がよせられ、学園の明るい前途が祝福される充実した記念式典となりました。また、20周年モニュメントとして、「wisdom」(彫刻家竹内三雄氏作)が建立されたほか、記念行事として、10月28日には、岡山シンフォニーホールで大阪フィルハーモニー交響楽団による記念コンサート、11月16日には、世界的な数学者の広中平祐先生(現山口大学学長)を招いての記念講演会などが開催され、実りある20周年でありました。



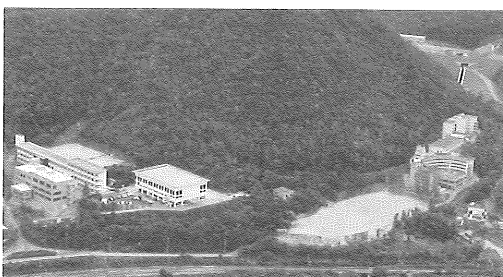
(創立20周年モニュメント)

岡山白陵アラカルト

校名	岡山白陵高等学校・岡山白陵中学校
所在地	岡山県赤磐郡熊山町勢力588
設立	昭和51年2月10日認可、4月開校
生徒数	高校 577名 女子 396名(内寮生 178名) 男子 181名(内寮生 32名)
	中学 362名 女子 245名(内寮生 78名) 男子 117名

- ①「教養と節度」「愛知・究理」「正明閣達」を校是とした、元気で明るい学校です。
- ②中学・高校共に男女共学で、学級編成は高校5学級、中学校3学級です。
- ③1校時70分授業を行っています。(もちろん春・夏・冬の補習もあります)
- ④最寄駅はJR山陽本線「熊山駅」で姫路駅から1時間の所です。車では山陽自動車道の和気インターから10分の距離です。
- ⑤生徒の通学区分内訳は、通学生66%、寮生30%、下宿生4%で、出身地は、1位岡山県44%、2位兵庫県42%、3位広島県8%、4位大阪府2%となっております。
- ⑥校歌は作詩 三木省吾先生、作曲 黒田 洋先生です。
- ⑦今春の大学合格状況は、東大9名(昨年13名)、京大8名(昨年9名)、阪大11名(昨年9名)等々ですが、岡山県下では常にトップの成績です。また、医学部希望者が多く、本年は岡大医学部へ8名合格しました。
- ⑧中学・高校共に阪神間の私学との併願校として人気が高く、毎年多数の受験生を集めています。阪神間でのネームバリューは白陵より大きい存在となっているようです。
- ⑨高校の卒業生総数は1期生から19期生まで2,347名です。

- ⑩現在の制服は男女とも白陵と同じく山本寛齋デザインの素敵な制服です。
- ⑪米国ニュージャージー州のドワイト・イングルウッドスクールと姉妹校提携を結び、毎年、交換交流プログラムを実施しています。
- ⑫校地面積は69,405㎡(18,304坪)です。
- ⑬校舎は大きくは教室棟、管理棟、体育館の3つに分かれています。白陵と同じく全教室にはエアコンが完備されています。
- ⑭碧翠寮(中高男子)、茜寮(高校女子)という近代的な生徒寄宿舎を完備しています。
- ⑮217畳敷きの大変立派な柔道場があります。
- ⑯生徒食堂はありません。また、白陵と同じくプールはありません。
- ⑰高校柔道部は本年3月の全国大会に岡山県代表として出場し見事一勝しました。しかし、残念ながら硬式野球部はまだ夏の高校野球岡山県大会で未勝利です。
- ⑱過去には高校の修学旅行を白陵と合同で行っていました。現在は1日ずらして別々に実施しています。(中学校は合同で続けています)
- ⑲開校当初は外国語の授業として英語以外にドイツ語、フランス語を必修として実施していました。
- ⑳開校当初、故園長先生が実践された厳しい生徒指導を物語るエピソードとして有名な昭和53年の「そば一杯停学事件」は、なまぬい風潮の時代にあつて白陵の存在を強烈にアピールしたものと成り、当時のマスコミにも大きく取り上げられ、全国的な反響を呼びました。



白陵会 平成8年度決算報告書
平成8年4月1日～平成9年3月31日

収入の部		単位 円	
科目	予算額	決算額	差異
前年度繰越金	16,518,312	16,518,312	0
会費収入	4,555,000	4,269,000	286,000
終身会費	2,955,000	2,925,000	30,000
臨時会費	1,600,000	1,344,000	256,000
寄付金収入	10,000	161,000	△151,000
会費外収入	155,000	63,821	91,179
名簿収入	5,000	0	5,000
広告収入	0	0	0
利息収入	150,000	63,821	86,179
雑収入	0	0	0
総会積立金繰入収入	1,250,000	1,250,000	0
合計	22,488,312	22,262,133	226,179

支出の部		単位 円	
科目	予算額	決算額	差異
事務費支出	130,000	94,875	35,125
消耗品費	20,000	1,019	18,981
印刷費	50,000	0	50,000
通信費	50,000	93,650	△43,650
支払手数料	5,000	206	4,794
雑費	5,000	0	5,000
会議費支出	310,000	135,018	174,982
理事会費	100,000	2,454	97,546
役員会費	150,000	125,564	24,436
委員会費	60,000	7,000	53,000
事業費支出	5,000,000	3,751,765	1,248,235
総会費	3,000,000	2,041,571	958,429
名簿発行費	200,000	618	199,382
会報発行費	900,000	893,080	6,920
卒業記念品費	800,000	773,221	26,779
慶弔費	100,000	43,275	56,725
備品費支出	0	0	0
渉外費支出	50,000	0	50,000
阪神淡路大震災義援金	80,000	80,000	0
予備費支出	500,000	0	500,000
小計	6,070,000	4,061,658	2,008,342
総会積立金	250,000	250,000	0
次年度繰越金	16,168,312	17,950,475	△1,782,163
合計	22,488,312	22,262,133	226,179

白陵会ニユース

★退職教員紹介

- ・下村 貢 先生 (数学)
- ・和田 省三 先生 (化学)
- ・文 智絵 先生 (家庭科)
- 平成3年～6年間勤務
- 平成3年～6年間勤務
- 平成7年～2年間勤務
- 以上

- 白陵会 物故者 (平成8年)
- ・網井 義孝 先生 (旧職員 昭41～43年在職) (数学)
- 平成9年4月逝去
- ・足立さやか (26期生)
- 平成9年4月逝去
- ・下村 正彦 (17期生)
- 平成9年5月逝去

白陵会 平成8年度 会務報告

年月日	内容	場所
8 4 11	理事会	文楽 (駅南)
4 15	広報委員会	白陵高校
6 15	定例役員会	白陵高校
7 24	総会準備委員会	白陵高校
8 10	'96 白陵会総会	ホテルサンガーデン姫路
9 15	白陵運動会	白陵高校
10 16	理事会・総準委会	新北京
11 9	岡山白陵高等・中学校 創立20周年記念式典	岡山白陵高等・中学校
11 29	役員会 (忘年会)	文楽 (市川)
9 2 10	32期生卒業式	白陵高校

藤田家将先生 兵庫県の柔道界で
一番偉くなられた!
「兵庫県柔道連盟会長に就任！」

名簿発行委員会発足

平成9年度白陵会名簿作成に向けて、名簿発行委員会が発足しました。

- | | |
|------|------------|
| 委員長 | 上田 喜裕 (6) |
| 副委員長 | 森崎 晴友 (4) |
| 委員 | 加藤 雅宣 (10) |
| | 黒川 仁 (8) |
| | 下村 康夫 (10) |
| | 町田 直隆 (15) |
| | 岡野 清和 (17) |

編集後記

先日の役員会でのひとこま。若い役員「名簿にいめるのあれすも掲載したらどうでしょうか。」、私他大勢「?」。なんやそれ?。」、若い役員「これこれしかじかです。」、私他大勢「?????」。コンピュータ化、世代ギャップの波はここ白陵会にも押し寄せていました。

平成9年6月現在、住所等不明者が三二二名、この数を皆さんどう思われますか。正会員数約五千名ということから考えると決して多い数ではないと思うのですが。やはり「白陵」という学校の持つ求心力は他の学校より強いのかなあと考える次第です。だって住所が変わったからって出身高校へ連絡します? 普通しませんよねえ。

白陵会 同窓会って何でしょうね。つてなことを考えながら、広報委員は「現在の白陵、あの時の白陵」に少しでも皆さんが触れていただけるよう紙面を作っています。どうか、今後とも益々色々ご協力ください。